医療機関各位

鳥取赤十字病院長 〈公印省略〉

「造影剤検査の問診票・同意書」、 「造影剤についての説明書」の改正について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より当院の『画像オープンシステム』をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当システム利用において「造影剤検査の問診票・同意書」「造影剤についての説明書」に関しては、CT・MR・血管造影・腎臓検査・胆嚢検査などすべての造影剤検査に使用してきましたが、検査により使用する造影剤の違いや休止薬の有無、事前の問診内容の違いなどがあり、この度、それぞれの造影検査に対応する書式に改正いたしましたのでお知らせいたします。

主にCT検査等、ヨード造影剤を使用する検査の場合は、「ヨード造影剤検査の問診票・同意書」、「ヨード造影剤についての説明書」を、MR造影検査の場合は「MR造影剤検査の問診票・同意書」、「MR造影剤についての説明書」を使用して頂きますようお願いいたします。

患者さんに安心・安全な医療を提供するための改正ですので、開業医の先生方に お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願 いいたします。

今後とも、ご指導、ご支援をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、 何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

お問い合わせ先

〒680-8507 鳥取市尚徳町117

鳥取赤十字病院 地域医療連携課

TEL 0857-39-0530 (直通)

FAX 0857-39-0531 (直通)

鳥取赤十字病院 画像診断オープンシステム 添付文書

主治医の先生方へ 造影検査前の腎機能検査についてのお願い

造影剤腎症とは造影剤投与によって生ずる腎障害のことで、多くは可逆的な機能障害ですが、時として不可逆的な腎不全に陥るケースもあります。患者様にとって安全な検査を行うためには、可能な限り造影剤腎症の発生を予防しなければなりません。したがって、腎機能低下を有する可能性がある患者様の場合には、造影剤腎症を予防するために、造影検査前に腎機能を把握しておく必要があります。

先生方には以前より血清クレアチニン値測定についてご協力を頂いておりましたが、2012 年に発信された腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドラインでは、造影剤による腎症を予防するために検査前後に補液などの十分な予防策をとることが推奨されています。当院においてもそれに従い、造影剤腎症を予防するための対策として造影剤の減量、補液などを行っております(下記)。

つきましては、<u>造影検査予定の患者様の場合は全例で腎機能検査(クレアチニン値測定)をお願</u>いいたします。

ご多忙とは存じますが、安全な検査のため何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

記

当院での造影剤腎症予防対策

対象: eGFR が 50 ml/min/1.73 m²未満の患者

予防策:造影 CT 検査前に生食 500ml を点滴投与

造影 CT 検査後に生食 500ml を点滴投与

診断能を保つ範囲で投与造影剤量を減ずる。

対象:eGFR が 50 ml/min/1.73 m²以上 55 ml/min/1.73 m²未満の患者

予防策:造影 CT 検査前に生食 500ml を点滴投与 診断能を保つ範囲で投与造影剤量を減ずる。

対象: eGFR が 55 ml/min/1.73 m³以上の患者 予防策: 経口での十分な水分摂取を勧める

*腎機能低下が高度の場合は造影検査を実施しません。

<mark>造影MR検査の場合</mark>は、 こちらの用紙でお願**い**します

MR造影剤検査の問診票・同意書

<u> </u>	左	丰	月							氏名	:		
						<u>生</u>	年月日	:	年	月	日		上別 男・女
・ 次の	当てに	はまる	ものに	.0や	文字を記	入してぐ	ください	١,					
引 1	•						•	Ū	ありま	すか。	[なし	・あり〕
					刊・肝臓								
	*	kSPI0	は検査	後3週	間は再権	きで査	ません						
引 2	検査	全はい	つごろ゛	でした	こか。			[年	月	日〕	• 不明
引3	その	つとき	副作用	はあり)ました:	か。しな	:し・	あり) **	ありは	該当に	つをし	てください。
	症状	犬〔吐	き気・	額や何	本のほて	り感・じ	ん麻疹	• 息吉	皆しさ	・その	他〕		
	その	D他のI	内容										_
月4	喘息	まとい	われた	ことに	はありま	すか。						なし	・あり〕
引 5	アレ	ノルギ	一体質	・アリ	ノルギー	生の病気	があり	ますカ),			なし	・あり〕
		字〔薬、 O他のI		による	るアレル	ギー・ア	トピー	体質・	アレ	ルギー	·性鼻炎	・その	他〕
月6 こ				害と		たことだ	がありる	ますか	?		[なし	· #	<u>-</u> らり]
					合ならび								
÷ /ι . Διև	いた。日之	(CDI)	\ 1 \\ -\ \	2 117 1	12 h y -	L							
•					けられるこ		州 \旧 垂 山	テレニ	to to 5	E > 1, 1	ナたりっ	ナナム	
」 / 政	大利则则	サル よ	1.7212	・七ク	ロマトー	ンク守事	大地州1	上乙二	47461	$\mathcal{L} \subset \mathcal{L}$	よめりる		
											$\int f dx$	• 4	≨ Ω 1
月Q H	1 m l	ている	立八六	Ή. ш	傾向がお	いますが	か まき	> 1十%	磨の	ためにも		ノ ・ ま 16 田 1 ~	
引8 出	は血し	ている	部位、	出血	傾向があ						鉄剤を用	服用し	ていますか。
						[7	なし・	あり] 🔆	(ありに	鉄剤を用を 該当に	服用し [、] こ○をし	ていますか。
	〔貧血	治療・	抗血小		傾向があ ・血液炎	[7	なし・	あり] 🔆	(ありに	鉄剤を用を 該当に	服用し [、] こ○をし	ていますか。
	〔貧血		抗血小			[7	なし・	あり] 🔆	(ありに	鉄剤を用を 該当に	服用し [、] こ○をし	
<u> </u>	〔貧血 一の他	治療・	抗血小			[7	なし・	あり] 🔆	(ありに	鉄剤を用を 該当に	服用し [、] こ○をし	ていますか。
<u>そ</u> で性の	〔貧血 <u>- の他</u> 方へ	治療・の内容	抗血小	、板剤		〔 》 超阻止剤	なし ・ 乳・発 作	あり 作性夜 <u></u>	〕※間血化	(ありに	鉄剤を は該当に 主・その	服用して このをし の他〕 ——	ていますか。
<u>そ</u> で性の 引 9	〔貧血 <u>この他</u> 方へ 現存	治療・の内容	抗血小 と 振中ま	、板剤	• 血液资	〔 》 超阻止剤	なし ・ 乳・発 作	あり 作性夜 <u></u>	〕※間血化	(ありに	鉄剤を は該当に 立・その	服用して ()をし の他〕 —— なし	ていますか。 てください
<u>そ</u> 女性の 引 9	〔貧血 <u>大の他</u> 方 現授 が 現 授	治療・ の内容 E、妊娠 L中で	抗血/ に に に た か。	、板剤 た <i>は</i> 対	血液炎壬娠して	〔 え 透固阻止剤 ハる可能	なし・ 到・発作	あり 作性夜 ります	〕※ 間血が たか。	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服用をしたした	ていますか。 てください ・ あり 〕
<u>そ</u> 女性の 引 9	〔貧の 方現授 検 へ 相	治療・の内容	抗血/ 振中ま すか。 して医	、板剤 たは 師かり	血液場近域が検査内	〔 え 透固阻止剤 ハる可能	なし・ 到・発作	あり 作性夜 ります	〕※ 間血が たか。	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服用をしたした	ていますか。 てください ・ あり 〕
<u>そ</u> で性の 引 9	〔貧の 方現授 検造血他 へ有爭 査景	治療・の内容 ・、中に対の ・、中に対の	抗血/ 振血/ 中か。 で用に にに	、板剤 たは か い で か で に か に が の で に の た に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	血液炎壬娠して	〔 え 透固阻止剤 ハる可能	なし・ 到・発作	あり 作性夜 ります	〕※ 間血が たか。	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服用をしたした	ていますか。 てください ・ あり 〕
<u>そ</u> で性の 引 9	〔貧の 方現授 検造血他 へ有爭 査景	治療・の内容	抗血/ 振中ま すか。 して医	、板剤 たは か い で か で に か に が の で に の た に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	血液場近域が検査内	〔 え 透固阻止剤 ハる可能	なし・ 剤・発作 性はあ	あり 作性 り ます 作用 の	〕 <u>※</u> 間血化 けか。 D説明	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服の他 ない 。	でいますか。 ・ てください ・ あい 〕
<u>そ</u> 女性の 引10	〔金 方 現授 検造血他 へ 有 妥 産 産 番	治の E L 至 が 西 医 上 で 対 の 暦	抗血/ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、板剤 たは か い で か で に か に が の で に の た に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	血液ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	で を で ・ 造影	なし・ 剤・発作 性はあ	あり 作性夜 ります	〕 <u>※</u> 間血化 けか。 D説明	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服用をしたした	でいますか。 ・ てください ・ あい 〕
<u>そ</u> 女性の 引10	〔金 方 現授 検造血他 へ 有 妥 産 産 番	治の E L 至 が 西 医 上 で 対 の 暦	抗血/ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、板剤 たは か 意 し	血液ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	〔 iz	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用 の 高 記 の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に に に る に る に に に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服の他 ない 。	ていますか。 ・ はい ・ はい 〕
で性の 引 9 引 10	〔金 方 現授 検造血他 へ 有 妥 産 産 番	治の E L 至 が 西 医 上 で 対 の 暦	抗血/ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、板剤 たは か 意 し	血液ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	〔 iz	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用 の 高 記 の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に に に る に る に に に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服の他 ない 。	ていますか。 ・ はい ・ はい 〕
で性の 引 9 引 10	〔1 うりょう (金)	治の ・中 ・中 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日	抗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、板剤 たは か う た の 血	血液ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	〔 注	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用 の 高 記 の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に に に る に る に に に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服の他 ない 。	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
で 性 り 引 10 介 清 ク	(全) 方 (重) かりません からない 大利・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	治の ・中に剤 がっ がっ がっ がっ がっ がっ がっ がっ がっ がっ	抗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、板剤 たは か意 近 の血	血液ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	〔 注	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用 の 高 記 の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に に に る に る に に に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿)	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服の他 ない 。	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
で見り 性 9 10 介 清 鳥 の 反 ク 取	(全) 方 (重) 大 (重) 大 (च) ((च) (((((((((((((((((((治の EL 至多西 男 チ字療内 、中 に剤 暦 の ニ病 妊で 対の暦 先 ン院	抗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	k	血液・血液がががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<td>「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が</td><td>なし・ 剤・発作 性はあ 一</td><td>あり 作性 ります 作用 の 高 記 の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に に に る に る に に に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。</td><td>〕 間血 か。 著名</td><td>(ありに 色素尿) を受け</td><td>鉄剤を は該当に 立・その [[v</td><td>服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい</td><td>ていますか。 ・ てください ・ あい 〕</td>	「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用 の 高 記 の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に に に る に る に に に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に 。	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿) を受け	鉄剤を は該当に 立・その [[v	服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
で は り 110 110 110 110 110 110 110 110 110 1	(全) 方 (重) 大 (重) 大 (च) ((च) (((((((((((((((((((治の EL 至多西 男 チ字使療内 、中 に剤 暦 の ニ病 用 い の エ の の の の の の の の の の の の の の の の の	抗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	k	血液ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用の 同意	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿) を受け		服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
大月月 1 1 1 1 1 1 1 1 1	〔一方 一次	治の EL 至多西 男 チ字使療内 、中 に剤 暦 の ニ病 用 い の エ の の の の の の の の の の の の の の の の の	抗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	k	血液・血液がががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<td>「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が</td><td>なし・ 剤・発作 性はあ 一</td><td>あり 作性 ります 作用の 同意</td><td>〕 間血 か。 著名</td><td>(ありに 色素尿) を受け</td><td></td><td>服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい</td><td>ていますか。 ・ てください ・ あい 〕</td>	「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	なし・ 剤・発作 性はあ 一	あり 作性 ります 作用の 同意	〕 間血 か。 著名	(ありに 色素尿) を受け		服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
で見りり 11 性 9 10	〔一方 一次 一次 である 「大きっぱった」 一次	治の 正し 至彡 西 男 チ字 使項療内 、中 に剤 暦 の ニ病 用:・ 対の暦 先 ン院の	抗 中か で用 ・ し 大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	k	 ・血 ・血 が が が が が が が が す す<td>「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が</td><td>な 引 ・ 性 ・ 剤 ・ ご ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記</td><td>を 性 り 作 同 だ り る の を う る う う た う う う さ う う る う う る う る う う る う る う る う</td><td>〕 間 か。 説 名 。</td><td>(ありに 色素尿) を受け</td><td></td><td>服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい</td><td>ていますか。 ・ てください ・ あい 〕</td>	「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	な 引 ・ 性 ・ 剤 ・ ご ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記	を 性 り 作 同 だ り る の を う る う う た う う う さ う う る う う る う る う う る う る う る う	〕 間 か。 説 名 。	(ありに 色素尿) を受け		服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
で見りり 11 性 9 10	〔一方 一次	治の 正し 至彡 西 男 チ字 使項療内 、中 に剤 暦 の ニ病 用:・ 対の暦 先 ン院の	抗 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	k	血液・血液がががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<td>「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が</td><td>な 引 ・ 性 ・ 剤 ・ ご ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記</td><td>あり 作性 ります 作用の 同意</td><td>〕 間 か。 説 名 。</td><td>(ありに 色素尿) を受け</td><td></td><td>服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい</td><td>ていますか。 ・ てください ・ あい 〕</td>	「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	な 引 ・ 性 ・ 剤 ・ ご ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記	あり 作性 ります 作用の 同意	〕 間 か。 説 名 。	(ありに 色素尿) を受け		服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい	ていますか。 ・ てください ・ あい 〕
女問問 四 1 【 性 9 10 介 清 鳥 医 ク 取 造 留	〔一方 一次 一次 である 「大きっぱった」 一次	治の 正し 至彡 西 関 チ字 使項療内 、中 に剤 暦 の ニ病 用: ・	抗 中か で用 ・ し 大 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	k	 ・血 ・血 が が が が が す が す す<td>「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が</td><td>な 引 ・ 性 ・ 剤 ・ 一 ・ ご ・ 記 ・ 放 ・ 放</td><td>を 性 り 作 同 だ り る の を う る う う た う う う さ う う る う う る う る う う る う る う る う</td><td>〕間 か 説 部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>(ありに 色素尿) を受け</td><td>決該:書上上</td><td>服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい</td><td>・ いまださい。 ・ か。 ・ はい 〕</td>	「 道阻止済 が で ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	な 引 ・ 性 ・ 剤 ・ 一 ・ ご ・ 記 ・ 放 ・ 放	を 性 り 作 同 だ り る の を う る う う た う う う さ う う る う う る う る う う る う る う る う	〕間 か 説 部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(ありに 色素尿) を受け	決該:書上上	服() 他 ない 。 続して しん しん しん たい	・ いまださい。 ・ か。 ・ はい 〕

	実施月日	検査項目	問診票記入時以降の変化	ルート確保	副作用	指導事項 (サイン)
		Gd検査(肝臓以外)	喘息の治療()	サイン		
		肝臓Gd-EOB検査	アレルギー ()		無有	 □遅発副作用について □飲水について
西暦		肝臓SPIO検査	SPI0検査の場合			
	1 /1 1	体重(kg)	出血の有無(()
		身長 (cm)	サイン			

MR造影剤についての説明書

今回実施する検査は、血管内に造影剤を注射して行なう検査です。

造影剤は、病気の有無や病気の性質、範囲といったことを正確に評価するため用いられるものです。

通常、静脈内に投与します。造影剤を使用するとまれに副作用がおこることもあります。このため、造影剤を使用するかどうかは、問診を聴取後担当医師(オーダー医師)が判断いたします。

副作用の少ないものが開発され用いられていますが、全く危険性がないとはいえません。

副作用の種類は次のようなものです。

【ガドリニウム造影剤の場合】

- 1. 軽い副作用:吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、発疹などです。このような確率は約1%以下です。
- 2. 重い副作用: 呼吸困難、意識障害、血圧低下などです。 このような副作用の確率は約0.05%以下です。
- 3. 重篤な腎障害のある方では造影剤使用後数日から数ヶ月後、時に数年後に皮膚の腫脹や効果、疼痛などが発生することがあります。腎障害患者様あるいは、透析患者様での発生確率は概ね5%以下と推定され、進行すると四肢の関節の拘縮を生じたり、死亡例も報告されています(腎性全身性線維症:頻度不明)
- 4. 造影剤を注射する際には、まれに血管外に造影剤がもれて、注射部位がはれて痛みを伴うことがあります。 基本的には時間がたてば、吸収されていきますので心配はありません。

【酸化鉄造影剤(SPIO)の場合】

- 1. 軽い副作用:吐き気、熱感、倦怠感、頭痛、鼻出血、発疹などです。このような確率は約1%未満です。
- 2. 重い副作用:
 - 1) 呼吸困難、血圧低下、喉頭浮腫、痙攣などです。このような確率は約1%以下です。
 - 2) 中毒性表皮壊死融解症があらわれることがあります(重篤な薬疹の一種:頻度不明)
- 3. この造影剤は出血傾向を増強したり、溶血を誘発するおそれがあります。
- 4. 造影剤を注射する際には、まれに血管外に造影剤がもれて、注射部位に色素沈着がおこることがあります。

検査後1時間から数日後に遅発性の症状がみられる事があります。下記のような症状がある場合、 受診科に相談してください。(夜間は救急外来にご相談ください 代表 0857-24-8111)

症状 じんましん 手足のしびれ かゆみ 吐き気 胸が苦しい 息が苦しい めまい 声がかれる のどがイガイガする 咳がでる 頭痛 発熱 冷汗 高血圧 鼻出血 腰背部痛など

検査後は、造影剤が早くに体外へ排出されるよう十分な水分を取ってください。

当院では、副作用に対して万全の体制を整えて、検査を行なっています。もし変だと感じたら、ためらわず、すぐにおっしゃってください。そのほか、わからないことや気になることがあれば検査担当者にお申し出ください。